

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月30日
上場取引所 大

上場会社名 株式会社和井田製作所
 コード番号 6158 URL <http://www.waida.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩崎年男
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼経理部長 (氏名) 名和芳治
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月3日 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

TEL 0577-32-0390
平成24年3月2日

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年6月21日～平成23年12月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	3,242	26.4	494	311.5	478	340.8	285	—
23年6月期第2四半期	2,565	123.3	120	—	108	—	16	—

(注)包括利益 24年3月期第2四半期 311百万円 (226.7%) 23年6月期第2四半期 95百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	43.01	—
23年6月期第2四半期	2.52	—

(注)当社は、平成24年3月期より決算期を6月20日から3月31日に変更しております。詳細につきましては、平成23年7月29日発表の「決算期変更及び定款一部変更に関するお知らせ」をご参照ください。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	8,074	—	4,714	—	—	58.4
23年6月期	7,834	—	4,491	—	—	57.3

(参考)自己資本 24年3月期第2四半期 4,714百万円 23年6月期 4,491百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
23年6月期	—	7.00	—	7.00	円 銭	14.00
24年3月期	—	10.00	—	—	円 銭	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	円 銭	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)当社は、決算期を6月20日から3月31日に変更しております。このため、決算期変更の経過期間となる平成24年3月期は9ヶ月11日間の変則決算となります。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年6月21日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,479	△10.0	911	105.8	889	114.1	651	18.4	98.23

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注)平成24年3月期は決算期変更の経過期間となることから、通期については9ヶ月11日間(平成23年6月21日～平成24年3月31日)の予想数値を記載しております。このため、通期の対前期増減率については記載しておりません。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 一社 (社名) 、除外 1社 (社名) WAIDA AMERICA INC.
WAIDA AMERICA INC.は、平成23年10月6日をもって清算結了したため、当第2四半期連結会計期間より、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	7,028,000 株	23年6月期	7,028,000 株
24年3月期2Q	399,294 株	23年6月期	399,242 株
24年3月期2Q	6,628,718 株	23年6月期2Q	6,628,758 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災から持ち直しの動きが続いておりましたが、歴史的円高や不安定な海外経済動向に加えタイの洪水の影響などから景気下振れリスクが徐々に強まり、全体として回復テンポが緩やかに推移いたしました。

工作機械業界におきましては、工作機械受注総額が平成23年9月から4か月連続で1,000億円を超え、回復傾向が続いております。内需では、長引く円高による国内製造の収益改善の遅れや景気の先行き不透明感から、国内の設備投資環境は依然として厳しい状況が続いており、平成23年12月の月次受注総額は353億円となりました。一方、外需ではタイの復興需要も相俟って平成23年12月の月次受注総額は806億円となりました。

このような状況の下、当社グループは、経営環境の変化に対応するため、海外における販売体制の再構築の一環としてドイツのHAAS社と販売提携契約の締結を決定するとともに、海外部品調達によるコストダウンを目的として台湾に合弁企業を設立することを決定いたしました。また、当社グループのコア技術を活かした特定ユーザーとのコラボレーションや産学連携のアプローチとして東京大学と「J. MONO-LABプロジェクト」を継続的に行い、新市場及び新事業の創造に取り組んでまいりました。

この結果、当社グループは、当第2四半期連結累計期間において、売上高は3,242百万円(前年同期比26.4%増)、営業利益は494百万円(前年同期比311.5%増)、経常利益は478百万円(前年同期比340.8%増)となり、四半期純利益は285百万円(前年同期は16百万円の四半期純利益)となりました。

品目別の業績を示すと、次のとおりであります。

(金型関連研削盤)

中国を中心としたアジア地域において、堅調に推移いたしました。売上高は1,074百万円(前年同期比17.3%減)となりました。

(切削工具関連研削盤)

国内市場、中国、韓国及びタイを中心として順調に推移し、売上高は1,591百万円(前年同期比81.4%増)となりました。

(その他の機械)

国内市場において、半導体関連が堅調に推移し、売上高は198百万円(前年同期比169.1%増)となりました。

(アフターサービス)

アフターサービス(有償修理)及びメンテナンス部品については、継続的な回復基調を受けて、売上高は378百万円(前年同期比19.8%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

総資産は、前連結会計年度末に比べ240百万円増加し、8,074百万円となりました。これは、主として現金及び預金が193百万円、仕掛品が325百万円、建物及び構築物(純額)が123百万円増加し、受取手形及び売掛金が213百万円、繰延税金資産が177百万円減少したことなどによります。

負債は、前連結会計年度末に比べ17百万円増加し、3,360百万円となりました。これは、主として未払法人税等が34百万円増加したことなどによります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ222百万円増加し、4,714百万円となりました。これは、主として利益剰余金が196百万円増加したことなどによります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ193百万円増加し、791百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、446百万円(前年同期は189百万円の収入)となりました。

収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益512百万円、減価償却費107百万円、売上債権の減少191百万円等であり、支出の主な内訳は、たな卸資産の増加356百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、185百万円(前年同期は5百万円の収入)となりました。

支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出171百万円等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、59百万円(前年同期は279百万円の支出)となりました。

収入の内訳は、短期借入れによる収入300百万円であり、支出の主な内訳は、長期借入金の返済による支出222百万円等であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期通期の業績予想につきましては、平成24年1月23日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。なお、平成24年3月期の業績の見通しにつきましては、決算期変更に伴い9ヶ月11日間(平成23年6月21日～平成24年3月31日)の決算を予定して見込んでおります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

WAIDA AMERICA INC. は、平成23年10月6日をもって清算終了したため、当第2四半期連結会計期間より、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年6月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年12月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,038,651	1,231,853
受取手形及び売掛金	2,572,179	2,358,979
商品及び製品	37,556	71,745
仕掛品	791,769	1,117,566
原材料及び貯蔵品	494,187	494,142
繰延税金資産	219,731	42,000
その他	79,301	72,974
貸倒引当金	△768	△77
流動資産合計	5,232,609	5,389,184
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	891,833	1,015,217
機械装置及び運搬具(純額)	286,339	253,462
土地	890,892	894,302
建設仮勘定	52,500	—
その他(純額)	52,124	81,159
有形固定資産合計	2,173,689	2,244,141
無形固定資産	11,864	29,984
投資その他の資産		
投資有価証券	264,790	252,946
その他	154,701	162,106
貸倒引当金	△3,088	△3,556
投資その他の資産合計	416,403	411,496
固定資産合計	2,601,957	2,685,621
資産合計	7,834,567	8,074,806

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年6月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年12月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	542,980	563,581
短期借入金	600,000	510,000
1年内償還予定の社債	—	600,000
1年内返済予定の長期借入金	399,808	429,808
未払法人税等	20,085	54,981
役員賞与引当金	40,000	—
その他	292,925	299,863
流動負債合計	1,895,799	2,458,234
固定負債		
社債	600,000	—
長期借入金	614,774	662,370
退職給付引当金	88,644	97,513
長期未払金	139,740	138,760
その他	3,987	3,443
固定負債合計	1,447,145	902,086
負債合計	3,342,945	3,360,320
純資産の部		
株主資本		
資本金	843,300	843,300
資本剰余金	881,244	881,244
利益剰余金	3,170,275	3,366,804
自己株式	△310,636	△310,664
株主資本合計	4,584,182	4,780,684
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△12,780	△24,624
為替換算調整勘定	△79,780	△41,574
その他の包括利益累計額合計	△92,561	△66,199
純資産合計	4,491,621	4,714,485
負債純資産合計	7,834,567	8,074,806

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年6月21日 至平成22年12月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月21日 至平成23年12月20日)
売上高	2,565,986	3,242,719
売上原価	1,603,478	1,868,061
売上総利益	962,508	1,374,657
販売費及び一般管理費	842,269	879,823
営業利益	120,238	494,834
営業外収益		
受取利息	338	152
受取配当金	6,694	6,826
受取賃貸料	1,998	4,527
助成金収入	4,014	—
その他	3,496	3,360
営業外収益合計	16,542	14,867
営業外費用		
支払利息	24,769	18,293
為替差損	3,082	12,567
その他	489	828
営業外費用合計	28,342	31,690
経常利益	108,438	478,011
特別利益		
固定資産売却益	16,217	1,736
補助金収入	—	43,668
貸倒引当金戻入額	14	—
特別利益合計	16,232	45,404
特別損失		
固定資産除却損	—	6,568
投資有価証券評価損	105,179	—
子会社清算損	—	4,559
その他	97	26
特別損失合計	105,276	11,154
税金等調整前四半期純利益	19,393	512,260
法人税、住民税及び事業税	2,680	49,458
法人税等調整額	—	177,731
法人税等合計	2,680	227,189
少数株主損益調整前四半期純利益	16,713	285,071
四半期純利益	16,713	285,071

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年6月21日 至平成22年12月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月21日 至平成23年12月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	16,713	285,071
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	85,101	△11,843
為替換算調整勘定	△6,489	38,205
その他の包括利益合計	78,611	26,361
四半期包括利益	95,324	311,433
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	95,324	311,433
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年6月21日 至平成22年12月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月21日 至平成23年12月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	19,393	512,260
減価償却費	88,714	107,955
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	—	△40,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	14,080	8,868
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△14	△222
受取利息及び受取配当金	△7,033	△6,979
支払利息	24,769	18,293
固定資産除却損	—	6,568
投資有価証券評価損益(△は益)	105,179	—
子会社清算損益(△は益)	—	4,559
固定資産売却損益(△は益)	△16,217	△1,736
補助金収入	—	△43,668
売上債権の増減額(△は増加)	100,689	191,622
たな卸資産の増減額(△は増加)	△209,048	△356,863
仕入債務の増減額(△は減少)	144,565	11,150
長期未払金の増減額(△は減少)	—	△980
その他の資産の増減額(△は増加)	△56,470	36,788
その他の負債の増減額(△は減少)	9,519	17,677
小計	218,127	465,296
利息及び配当金の受取額	7,035	6,979
利息の支払額	△25,730	△21,204
法人税等の支払額	△9,652	△18,874
補助金の受取額	—	14,556
営業活動によるキャッシュ・フロー	189,779	446,753
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△600
定期預金の払戻による収入	600	1,200
有形固定資産の取得による支出	△18,331	△171,040
有形固定資産の売却による収入	23,580	3,409
有形固定資産の除却による支出	—	△320
無形固定資産の取得による支出	—	△18,305
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,848	△185,655
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	400,000	300,000
短期借入金の返済による支出	△410,000	△90,000
長期借入金の返済による支出	△222,738	△222,404
リース債務の返済による支出	△543	△543
配当金の支払額	△46,401	△46,401
財務活動によるキャッシュ・フロー	△279,682	△59,348
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,071	△7,946
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△90,126	193,801
現金及び現金同等物の期首残高	846,348	597,951
現金及び現金同等物の四半期末残高	756,222	791,753

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

子会社の解散

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年6月21日 至 平成23年12月20日)

当社は、平成24年1月30日開催の取締役会において、連結子会社であるWAIDA Europe GmbHを解散することを決議いたしました。

① 解散の理由

海外における経営環境の変化等に対応するため、海外の販売体制の再構築の一環として、ヨーロッパの販売拠点であるWAIDA Europe GmbHを解散することといたしました。

② 当該子会社の名称、事業内容及び出資比率

名 称 : WAIDA Europe GmbH

所 在 地 : ドイツエスリンゲン市

事業内容 : 欧州における当社製品の販売及びアフターサービス

出資比率 : 当社100%

③ 当該子会社の状況(平成23年5月31日)

資産合計 645,971.75ユーロ

負債合計 45,618.48ユーロ

純資産合計 600,353.27ユーロ

売上高 340,706.00ユーロ

当期純利益 △459,834.34ユーロ

④ 当該解散による損害見込額

当該解散に伴う整理費用等は、軽微であります。

⑤ 当該解散が営業活動等へ及ぼす重要な影響

当該解散に伴う営業活動等への影響は、軽微であります。